

新春記者会見資料

日 時：平成29年1月6日（金） 午前11時～

場 所：市役所2階 庁議室

○ はじめに

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた一年のスタートを飾られたこととお慶び申し上げます。年頭にあたり、まずもって皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

○ 昨年を振り返って

昨年は、熊本や鳥取中部と大きな地震、桜島や阿蘇山の噴火、台風10号をはじめとした風水害など自然災害が多発した年でありました。

特に熊本地震は、甚大な被害をもたらし、私どもも発生直後から支援物資の搬送や職員派遣を行ってまいりました。いつ起こるか分からない災害に対して、これらの経験を本市の備えにも反映させたいと思います。

5月には、伊勢志摩サミットが開催され、三重県が大きな注目を集めた1年となりました。伊賀米、伊賀牛などの地元食材が提供されたのをはじめ、名張の地酒3銘柄が首脳の宴席でふるまわれるなど、名張の質の高いものづくりが国内外で評価され、大変うれしいニュースとなりました。

さて、本市の昨年を振り返りますと、3月に新しい総合計画「新・理想郷プラン」を策定しました。地域活力の創生を目指す「名張市 まち・ひと・しごと創生総合戦略」と合わせ、「元気創造」「若者定住促進」「生涯現役」の3つの重点プロジェクトを柱に、各種施策をスタートさせました。

また、議員提案により、「ものづくり基本条例」や「“食べてだあこ”名張のお菓子でおもてなし条例」が制定されました。名張の産業振興につながることを期待し、ものづくりを総合的に支援する体制を整備していきます。

また、福祉の理想郷の集大成とも言うべき、「地域福祉教育総合支援システム」を立ち上げ、多様な連携のしくみをさらに発展、強化するため福祉や子育て、教育等の新しい包括的支援体制を整備していくこととしました。

○ 平成29年の施策展望

財政面では、名張躍進の土台づくりを進める財源を確保するため、昨年から都市振興税を導入いたしました。しかし、社会保障関係費や老朽化施設更新経費などの増加により、しばらくは厳しい財政状況が続くと見込まれます。これまで以上の自主財源の確保を行い持続可能な財政基盤を早期に確立していきたいと考えています。

公共施設の中長期的な維持管理・更新を見据えた公共施設等のマネジメントをはじめ、受益者負担の適正化を図る観点から、使用料及び手数料の見直しなど、市民の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、職員一丸となった更なる行政財政改革を進めてまいります。

地方創生や誰もが活躍できる一億総活躍社会の実現を目指し、人口減少や超高齢社会への対応など様々な課題を乗り越え、人や企業から選ばれるまちとなるよう、市総合計画「新・理想郷プラン」に掲げる「元気創造」「若者定住促進」「生涯現役」の3つの重点プロジェクトを柱に各種施策や事業の横断的かつ一体的な取組みを進めてまいります。

それでは、今年的主要な施策について申し上げます。

1. 支え合い健康でいきいきと暮らせるまち

(1) 地域福祉教育総合支援システムの取組

高齢者、子ども、健康づくり、障害者、生活困窮者、消費者被害、認知症対策、教育等のさまざまな分野に係る複合的な課題にワンストップで対応できるよう、地域、関係行政機関、各種団体等、多機関協働によるネットワークを充実させ、包括的に支援していくことを目的とした「地域福祉教育総合支援システム」の取組みを本格的に進めてまいります。

(2) 地域医療体制の充実

伊賀地域の地域医療体制のあり方については、県が28年度に策定する「地域医療構想（ビジョン）」に沿って伊賀市、3病院、三重県等関係機関と取組みを進めてまいります。

市立病院は、昨年11月に策定しました「第二次名張市立病院改革プラン」に沿い、引き続き病院事業の経営改革に取り組むとともに、産婦人科の設置につきまして、平成31年度の開設に向けて準備を進めてまいります。

また、今年の名張市立病院と介護老人保健施設ゆりの里が開設から20周年を迎えますことから、市民の皆さまに多数ご参加いただける記念事業の開催を予定しております。

(3) 健康づくりを応援

市民の健康意識を高め、健康づくりの習慣化を支援するため、「名張ケンコー！マイレージ」を本格実施し、健康寿命の延伸を目指してまいります。

(4) 子育て支援の更なる推進

私立保育園を1カ所、小規模保育事業を2カ所、新たに施設整備を行うなど、保育の受入れ枠の拡大により待機児童の解消に努めてまいります。

妊娠、出産、育児を切れ目なくサポートする「名張版ネウボラ」の充実と特色ある教育の取組みを進めてまいります。

2. 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち

(1) 安全で安心なまちづくり

これまでも市民参加型として実施してまいりました総合防災訓練を、今年もより多くの組織、団体、市民の皆さんに参加いただける形で実施し、より実効性の高い防災訓練を実施してまいります。

(2) 消防救急体制の強化について

増加する救急事案に対応するため、救急救命士を養成してまいります。また現在、試行運用しております救急ワークステーションについて検証し、4月から本格運用を実施するため、医療機関と連携した救急体制の充実強化を図ってまいります。

(3) 水道施設の更新や公共下水道等の整備

平成26年度から着手した富貴ヶ丘浄水場の機械・電気設備の更新は、平成29年度の完了を目指し実施してまいります。また、経年化した管路は、水道ビジョンに基づき計画的に更新を行い、耐震化を図ってまいります。

公共下水道では、引き続き名張地区の面整備、区域内住宅地の移管接続を促進し、未普及地域の解消を図ると共に、移管済み住宅地に係る老朽化対策として、施設の年次的な改築更新に取り組んでまいります。

農業集落排水事業については、比奈知地区の平成30年度供用に向けた整備を進めてまいります。

(4) 省資源・省エネルギー、資源循環型社会の構築に向けて

「第3次なばり快適環境プラン」や「ごみゼロ社会を目指すアクションプログラム（第5次）」、平成29年度に改定する「スマートシティなばりエネルギーアクションプラン」に基づき、更なるごみの減量化・資源化、

温室効果ガスの排出抑制に取り組んでまいります。

(5) 空き家対策について

昨年6月、不動産関係団体と連携して「名張市空き家バンク」を開設するとともに、子育て世帯に対する中古住宅等リノベーション支援制度を創設し、空き家となっている中古住宅の利用促進に取り組んできたところです。一方、管理ができていない空き家は、法律等に基づく指導・勧告等を行い、所有者に対し適切な管理を促してまいりました。

引き続き、市民や関係団体の皆さまと連携しながら、空き家の利活用と適正管理に向け取り組んでまいります。

3. 活力に満ちて暮らせるまち

(1) 活力ある農村・農業の推進

本年4月から旧滝之原小学校の給食調理室を利用し、農産物の加工所が稼働します。名張の農産物の付加価値を高め、新たな販路の開拓を目指し、1次、2次、3次産業を連携させ、新たな6次産業化の形として「なばり農業」を進めてまいります。また、「なばり農業」の未来を描く「第3次名張市農業マスタープラン」の策定に取り組んでまいります。

(2) 観光の振興

奈良県宇陀市、曽爾村、御杖村、山添村と連携した「広域観光連携推進事業」で、日本の自然や文化に興味を持つ外国人観光客等をターゲットに、体験型旅行、ニューツーリズムの商品を企画し、観光客誘致を進めてまいります。

また、学生を対象とした「なばり旅コンテスト」を実施するなど観光戦略の取り組みを推進してまいります。さらに観光情報だけでなく、子育て、教育、住まいや仕事をはじめとする暮らしの情報なども発信し、移住・定住につなげてまいります。

(3) 「しごとづくり」について

名張市雇用創造協議会が取り組む雇用創出の目標人数は、平成26年7月から平成29年3月までの2年9ヶ月の期間で、195人としていましたが、大幅に上回る実績が見込まれるなど順調に推移しています。事業終了後につきましても、新たな産業創出やライフステージに応じたきめ細かな就労支援の両輪で雇用創出を図ってまいります。

(4) 森林・林業の活性化

森林の整備を進める「未利用間伐材バイオマス利用推進事業」において、事業開始の平成27年1月からこれまで、1300トンを超える出荷量となつてまいりました。

今後も、山林の荒廃を防止し、生産林の健全な育成を図るとともに、森林の持つ多面的機能維持を図り、災害に強い森林づくりを推進してまいります。

4. 豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち

(1) コミュニティ・スクールの創設

第二次子ども教育ビジョンに基づき、市内全小中学校にコミュニティ・スクールの創設を目指しています。平成29年度の早い段階で、小中一貫教育の研究指定校である南中学校、つつじが丘小学校にコミュニティ・スクールの創設するよう取り組んでまいります。

(2) 平成33年三重国体開催に向けて

ホッケー、弓道、軟式野球、綱引の4種目の競技会場となることから、県と連携しながら準備を進めてまいります。三重国体の開催を契機として、本市の更なる市民スポーツの振興を図り、生涯現役社会を構築してまいります。

5. 未来につなぐ自立と協働による市政経営

(1) 協働のまちづくり

これまでも、市民の皆さまとともに地域力を築き上げ、住民自治の熟度を高めてまいりました。

今後も市民の皆さまと課題や目標、様々な情報を共有しながら、若いも若きも、男性も女性も、障害や難病のあるなしに関わらず、全ての市民の社会参画がかない、地域で支え合う共生社会の実現を目指したまちづくりを進めてまいります。

○ むすびに

以上、年の初めにあたり、主な施策を申し上げます。本年も旧に倍するご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。